

# アート × 美術館 × 認知症 アートリップ（対話型鑑賞） の概要と効果



認知症当事者とそのご家族、介護者の方を対象とした対話を通じた美術鑑賞プログラム「アートリップ」を各地の美術館・福祉施設で実践してきた林容子氏に、これまでの事例を踏まえてご講演していただきます。

## アートリップとは？

絵を見ながらアートコンダクターが質問し、質問から新たな発見を生み出すスタイルで進行する“対話”を取り入れた鑑賞法です。作品を見て、自ら考え、想像し、話し始める。本人も、参加する人々も想像できない一瞬が広がっていきます。

この鑑賞法は認知症の周辺症状（BPSD）のイライラやうつ、不眠などの緩和の効果が証明されています。

2024年 **2**月 **7**日（水） 13：30～14：30

講師：<sup>はやし よう こ</sup>林容子氏  
（一般社団法人アーツアライブ代表理事 /  
尚美学園大学・大学院准教授）

場所：栃木市市民交流センター  
大交流室

定員：70人

参加費：無料（要申込）

申込：2024年1月6日（土）10時～  
電話にて（0282-25-5300）

主催：一般社団法人アーツアライブ

共催：栃木市立美術館

助成：日本財団

企画展「写真家が捉えた  
昭和のこども」



土門拳「おしくらまんじゅう」昭和28年

【開催期間】  
2024年1月13日（土）→  
3月24日（日）

【観覧時間】  
9：30～17：00（入館は16：30まで）

【休館日】  
月曜日（祝日の場合は開館）  
2024年2月13日、3月21日

【観覧料】  
一般 大・高生 800円  
中学生以下無料